



Hawaii大学 SimTiki Program に参加し、研修を受けました

平成22年12月7,8日に計画された、Hawaii大学SimTiki研修に参加してきました

岡山大学医療教育統合開発センターでは今年度から5カ年計画の、チーム医療体制の構築とシミュレーション教育の充実のための予算を獲得しています。

今回、本プロジェクトの一環として岡山大学医学部チーム医療検討委員、臨床系教育企画委員、岡山大学病院看護部、卒後臨床研修センターからそれぞれの代表計

14名をハワイ大学のシミュレーションスキルセンターSimTikiへ派遣し研修受講を行いました。

ハワイ大学は世界でも有数の、学外有料コースを設定して運営を行っているシミュレーションスキルセンターです。当大学でのシミュレーション教育には定評があり、日本からも多数の研修受け入れがなされており、岡山大学からは現在1名の留学生も滞在しているセンターでもあります。

今回参加したコースは当センターからの要望に沿った、岡山大学独自のコースであり、「Night On Call」研修医クラスの医師が夜間急変した非担当患者の対応をその場にいた医療

チームで対応するシミュレーションや、「Crisis Team Scenario」救急外来などで遭遇する急性期病態に、救急外来に集合したチームで役割分担を決めて対応を行う訓練、「Disaster Victim Triage」災害に於けるトリアージ訓練を通じて、迅速で的確な判断を行う事がきちんと対応できるか、をみる訓練などが盛り込まれた、非常に充実したものでした。



SimTiki講義室



実際の研修風景



ハワイ大学で活用されていたシステムで、デブリーフィングシステムというものがあります。シミュレーションの際に

参加者がそれぞれどのように活動していたか、をタイムマシンで戻る如く振り返って検証できるシステムです。今年度から来年度にかけて、当センターでも導入を計画しています。

本年も医療教育統合開発センターをよろしくお願い申し上げます。

ハワイ大学研修のあと、ハワイ周辺領域では唯一の三次医療施設でもあるTripler Army Medical Centerを視察してまいりました。



同病院は、通常業務時は200床あまりの病床数で稼働していますが、緊急時には1000床まで、あっという間に増床することが可能な、とても大きな病院でした。院内は軍服、迷彩服を着た医療関係者、患者にあふれており、日本とは違った緊張感がありました。環太平洋地域のキー病院ということもあり、韓国、グアムの両基地病院とネットワークで常時接続されており、現地で負傷した患者のリアルタイムのバイタルサインや画像所見を閲覧できるようになっていて、治療方針などをオンラインで協議できるようになっていたのが印象的でした。

その他、非常に厳密に感染

防御対策を行っていたり、患者情報を医療人が十分共有できるようなシステム構築を行っている点が非常に興味深く思いました。

また、下の風景写真ですが、これは何の写真かわかりますか？これは実は、患者さんのベッド直上の蛍光灯のカバーなんです。ベッドに寝た状態はどうしても天井を見上げる形になってしましますが、それがまぶしくないように、また精神的にもリラックスできるように、このような配慮がしてあるようです。

岡山大学病院でも取り入れることができそうですね。

今回の研修に関しては、12月21日（火）に臨床講義棟で研修報告会を開催致しました。研修報告に関しては御参考として頂けるように、現在文書に編集中で、近日各部署に配付予定にしております。



模擬患者参加型

教育フォーラムin岡山

についてのお知らせ

チーム医療シミュレーション教育による臨床能力スキルアッププロジェクトの一環として、上記フォーラムを開催致します。

期日：平成23年2月13日（日）
13時～18時

場所：岡山大学創立五十周年
記念館 会議室

岐阜大学医学教育開発研究センターの藤崎和彦先生に「我が国の医療教育における模擬患者（SP）役割」を、特定非営利活動法人 響き合いネットワーク・岡山 SP研究会の前田純子さんに「模擬患者（SP）として大切にしていること」をご講演頂く予定です。その他、パネルディスカッション「医療教育におけるこれからの模擬患者参加型教育」を開催致します。

ご参加聴講には事前申し込みは不要です。医療教育、模擬患者に関して興味をお持ちの方、ふるってご参加下さい。

フォーラムに関するお問い合わせは、医療教育統合開発センターまでお願いします。

シアトルから医師・救命士を招き講演会を開きました

11月24日（水）、メルパルクOKAYAMAに於て、シアトルから現地の救急救命士（EMT-Paramedic）のNorm Nedell氏、Kenny Gundle 医師を招き、「米国のチーム医療を斬る！」と題して講演会を開催致しました。Norm Nedell救命士（EMT-P）は28年のキャリアを持ち、救急救命士として活動するほか、消防隊と救急医療（EMS）の教育発展プログラムに18年間従事されており、2007年にシアトルで最も優れた救急救命士に与えられる'Sprit of Team Play Award 2007'を受賞しておられる方でもあります。Kenny Gundle 医師はワシントン大学メディカルスクール、整形外科・スポーツ医学専攻分野レジデントとして勤務されている方です。大学卒業時には医学教育／歴史分野における最優秀卒業論文賞を受賞され、John E. Thayer奨学金を授与された英才です。

講演会では、シアトル、米国の医療事情と問題点、救命士教育の問題や、日米の医療の差異、問題点などを深く掘り下げた内容でお話し頂きました。平日の夜にも関わらず、岡山県の各地からたくさんの聴講希望者にお集まり頂きました。深く感謝申し上げます。

当センターでは今後もこのような講演会を開催して参ります。御期待下さい。

